

山形県飯豊町

ながめやまバイオガス発電所 ～自然と共生する循環型社会を拓く 最強のローカル～

2

問題を
ゼロに

7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

11

住み続けられる
まちづくりを

プログラムの内容

ながめやまバイオガス発電所が立地する飯豊町は、日本三大和牛といわれる「米沢牛」の4割を生産する一大生産地です。町では特産品である「米沢牛」の生産拡大を目指していますが、農業従事者の減少、牛ふんの処理や発生する臭気対策等の解決すべき問題も山積していました。

また、東日本大震災では、人的な被害は無かったものの震源から遠く離れたこの地でも停電が発生し、非常時の電源確保をどうするかという新たな課題も発生しました。

そのような中で、東北おひさま発電株式会社は子どもたちの未来のために「自立した地域」を創ることを決意し、設立しました。太陽光発電からスタートし、小水力発電、バイオガス発電に取り組んでいます。エネルギー自給、環境保全、地域資源の活用、循環型社会の実現について学びます。



牛舎とながめやまバイオガス発電所



2つの発酵槽で45日間メタン発酵



食品残さを副原料として利活用



堆肥や液肥は無償で地域に還元

👉 見どころ！ここがポイント！

●牛舎に隣接して建設された「ながめやまバイオガス発電所」。パイプラインで排泄物（牛ふん）を自動収集し、発酵して発生させた「メタンガス」で発電しています。以下のような課題にどう取り組んでいるのでしょうか。是非現地で、確認してみてください。

- ①牛ふんをどのように処理してる？発生する臭気対策は？
- ②発電出力をあげるための工夫は？
- ③生産された堆肥や液肥はどうしてる？

SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール2(ターゲット2.4) 持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する
- ゴール7(ターゲット7.2) 地域資源を生かした再生可能エネルギーの活用事例を学ぶ
- ゴール11(ターゲット11.6) 廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす

事前学習

- 再生可能エネルギーの種類、特徴について調べてみよう。
- 自分の住む地域で活用できそうな資源について調べてみよう。

現地学習

- 「ながめやまバイオガス発電所」設立の経緯、概要説明（30分）
- 施設見学（30分）

事後学習

- 自分の住む地域の資源を活用して、どんな循環型社会の構築ができるか話し合い、まとめてみよう。

受入人数

5名～25名

対象

小学生・中学生・高校生

受入可能時期
(休業日)

4月～11月（土日祝日を除く）

1人/1回
当たり料金

1,800円

受入可能時間

9:00～16:00

備考
(雨天対応等)

施設見学は屋外となる為、雨天時は傘などの雨具をご用意ください。

体験時間

60分

問い合わせ

やまがたアルカディア観光局

TEL: 0238-88-1831 FAX: 0238-88-1812

Mail: info@arcadia-kanko.jp

営業時間: 平日 9:00～17:00

年末年始休業